

# 平成26年度 助成事業

## 応募要項

### テーマ

アジア・オセアニア諸国や地域に関する政治、経済、文化、  
歴史等の調査・研究、国際会議等の国際交流事業や  
出版等の啓発・広報活動等に対する助成事業

### 募集時期

平成26年6月16日～平成26年7月31日(必着)



公益財団法人  
リそなアジア・オセアニア財団

## 助成の趣旨

当財団は、我が国とアジア・オセアニア諸国・地域との国際交流を通じて相互理解の増進に寄与することを目的とし、アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・人文科学分野（政治、経済、文化、歴史等）の調査・研究や国際会議等の国際交流活動や出版等の啓発・広報活動等に対して助成を行っています。

現在は、特に政府などの公的機関や一般企業からの支援を得にくい若手研究者（20代後半～30代前半）や研究機関への助成に重点を置いています。

### 募集する助成対象

#### ◆調査研究助成

我が国及び海外の若手研究者による個人研究  
共同研究プロジェクト

#### ◆国際交流活動助成

国際会議、シンポジウム等開催助成  
研究者交流助成（人材招聘、派遣等助成）

#### ◆啓発・広報活動助成

出版助成

### 助成対象とならないもの

営利を目的とした調査研究活動  
研究集会の開催、機械備品等の購入のみを目的とした活動  
授業料、生活費自体への支援

### 助成金受給者の義務

助成金受給者は弊財団と『覚書』を締結し、これに基づき、助成期間中1年毎に中間報告書と会計報告書を、終了後には活動完了届、活動報告書、会計報告書をそれぞれご提出いただきます。

### 助成の概要

＜調査研究、国際交流活動＞	
募集制限	要推薦／海外日本人可／在日外国人可・推薦外国人可（ただし共同研究は日本人を代表者とする）／地域制限（アジア・オセアニア諸国、地域）／年齢制限（若手研究助成については原則申込書提出時期35才以下で当該研究に2年以上携わっている方を対象）

募集時期	平成26年6月16日～平成26年7月31日（必着）
決定時期 （予定）	助成「申込書」による第1次選考（平成26年10月中旬） 助成「申請書」による第2次選考（平成27年2月下旬）
活動期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日（予定）
助成	1年～2年 （但し、継続する活動についても翌年 再度「申請書」を提出いただき、選考を受けるものとします。）
助成実績 件数 金額	【平成25年度】 調査研究助成 …18件 [合計] 14,750千円
1人当りの 助成金額	個人研究助成… 50～150万程度 共同研究助成… 100～200万程度 ★金額は、活動の内容及び規模により、案件毎に査定いたします。 ★個人が一般的に使用するパソコン購入費、学会等への出席に係る経費は、調査研究助成の対象外となりますので注意下さい。
採否について	第1次選考…結果は申込者全員に文書で通知いたします。 （10月下旬予定） 第2次選考…27年2月（予定）の理事会にて最終決定され、 結果は申請者全員に文書で通知いたします。 （2月下旬予定）
応募方法	弊財団所定の「申込書」に必要事項を記入の上、 弊財団宛書留便にてお送り下さい。 注） ※送付の際は、「申込書（原本）」に「写し（A4）7部」（各部毎セットしたもの）並びに「返信用封筒（角2号240×332mm 120円切手貼付・返信先を明記）」を同封願います。 ※ファクシミリによる申込受付は致しません。

◆留意事項

- ※ご提出いただいた「申込書」「申請書」等をご返却いたしません。
- ※採否結果の理由に関するお問い合わせには応じ兼ねますのでご了承下さい。

## 「申込書」送付先

公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団

〒541-0051 大阪府中央区備後町2丁目1番1号 第二野村ビル5階

電話（06）6203-9481

FAX（06）6203-9666

E-Mail / info@resona-ao.or.jp

## 平成25年度 助成事業

### (1) 調査研究助成

#### 《我が国及び海外の若手研究者によるアジア・オセアニア諸国・地域研究助成》

	研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
1	中国南北朝時代の貨幣経済と周辺諸地域	かきぬま ようへい 柿沼 陽平	早稲田大学文学術院 アジア史コース 助教	950,000
2	「韓国資本主義論争」の性格と日本の知の交錯をめぐる思想史的考察	やまもと こうしょう 山本 興正	東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程	810,000
3	現代東アジアにおける「大量死」の記念に関する比較社会学的研究 —紛争後の沖縄・台湾・済州島を中心にして—	こそんまん 高 誠晩	京都大学大学院 文学研究科 博士後期課程	450,000
4	「イスラーム復興」から「公益」へ —現代中国におけるムスリム・マイノリティ回族による宗教復興運動の展開を巡る人類学的研究—	なら まさし 奈良 雅史	筑波大学大学院 人文社会科学研究科 博士課程	410,000
5	中国南北朝時代の貨幣経済と周辺諸地域	かきぬま ようへい 柿沼 陽平	帝京大学 文学部史学科 専任講師	750,000
6	近代日本の東洋史学の構築と日中知識人の学術交流 —上海東文学社を手がかりに—	しゅりん 朱 琳	神奈川大学 外国語学部 特任助教	600,000
7	清朝皇帝死去と新皇帝即位の報の伝達とその受容からみる清朝 —チベット関係	いわた けいすけ 岩田 啓介	筑波大学大学院 人文社会科学研究科 博士課程	780,000
8	前近代の中東地域における遊牧民と国家 —18世紀初頭、シリア北部へのクルド、テュルクメン定住化政策を中心—	いわもと けいこ 岩本 佳子	京都大学大学院 文学研究科 研修員	720,000
9	朝鮮人学徒兵出身者の口述記録の収集とその整理	あきおか あや 秋岡 あや	一橋大学大学院 社会学研究科 博士後期課程	750,000
10	ビルマ(ミャンマー)の国民和解に関する人類学的研究 —難民の帰還事業をとおして—	くぼ ただゆき 久保 忠行	立命館大学 衣笠総合研究機構 専門研究員	800,000
11	「クール・ジャパン」の海外進出を支えたのは誰か？ —豪州日本食産業の事例研究—	ふじおか のぶあき 藤岡 伸明	一橋大学大学院 社会学研究科 博士課程	270,000

#### 《共同研究プロジェクト助成》

	研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
12	東アジアにおけるアーカイブズ理念の受容と歴史的文化的情報資源の構築 —日本・韓国・中国・台湾を中心として—	はまだ ひでたけ 濱田 英毅	東京女学館 史料課編纂室 助手	270,000
13	太平洋諸国における接触言語の比較研究	まつもと かずこ 松本 和子	東京大学大学院 総合文化研究科 准教授	870,000
14	バリ島における障害のある役者たちの演劇実践に関する人類学的研究	よしだ ゆかこ 吉田 ゆか子	国立民族学博物館 先端人類科学研究部 機関研究員	720,000

### (2) 国際交流活動助成

#### 《国際会議、シンポジウム等開催助成》

	研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
15	日本文化人類学会50周年記念国際研究大会 (IUAES 2014 合同開催)	こいずみ じゅんじ 小泉 潤二	国際高等研究所副所長 日本文化人類学会会長 大阪大学未来戦略機構 特任教授	2,000,000
16	オーストラリア学会25周年記念事業、第1回国際学会 「グローバル化時代におけるオーストラリア研究の変容」の開催	ありみつ やすえ 有満 保江	同志社大学 グローバル地域文化学部	900,000

### (3) 啓発・広報活動助成

#### 《出版助成》

	研究課題	研究者	研究者所属	助成金額
17	『魚毒漁儀礼の民族誌—ニューギニア辺縁部 テワダにおける移動・社会空間・共同体』の出版	たどころ きよし 田所 聖志	東京大学大学院 医学系研究科 特任助教	1,600,000
18	相互行為から生成する経済 —トンガ王国村落における贈与とふるまいの民族誌—	ひが なつこ 比嘉 夏子	国立民族学博物館 外来研究員	1,100,000

平成25年度助成事業 助成金合計  
18件 14,750,000円